

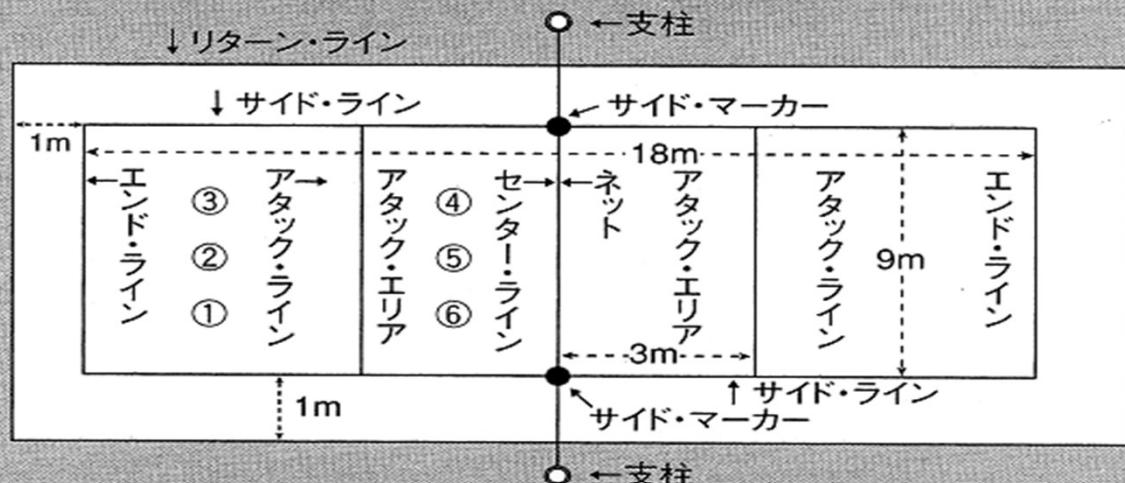
ローリングバレーボールの紹介

東京都ローリングバレーボール連盟

「ローリングバレーボール」とは

(1) コート

バレーボールコートの外側に幅1mのライン(リターン・ライン)を設ける。



注1 ①～③は後衛競技者で立位。

④～⑥は前衛競技者で座位(膝立ちまで可能)。

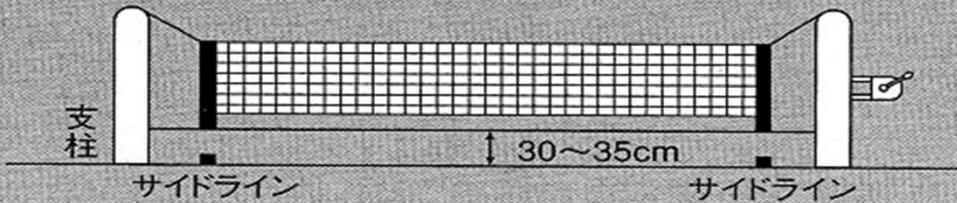
注2 数字はサービス打順を示す。

(2) ネット

ネットの高さは床面から30～35cm以下とする。

(3) ボール

試合において採用するボールは5号検定球とする。



ローリングバレーボールとは、バレーボール競技を基にしながら障害者から健常者まで、だれもが楽しめるノーマライゼーションスポーツとして1977年に兵庫県で発案されました。

床上30cmの高さに張ったネットの下にボールを転がして点数を競うスポーツです。

プレースタイル①



- ・ バレーボールコートを使用して、6人でプレーします。
- ・ 正規のルールでは、健常者が**2名**までプレー出来ます。

プレースタイル②



前衛選手は、基本的に座ってプレー出来るので、身体的重度な方も楽しめます。



プレースタイル③



- 後衛プレーヤーは、立ってプレーするだけでなく、車椅子の方でもプレー出来ます。



緩和ルールについて

- ① サーブは、**打ちやすい位置**で打ってもよい。※補助具使用可
- ② ボールを2回続けて打つとドリブルになるが、**難しい方は2回打っても**プレー続行とする。
- ③ ボールが止まっても、打とうとする動作がある限り、**打つまで待つ。**

関東ローリングバレー ボール 大会について

- ・ 東京都では、約 30 年前に東京都障害者総合スポーツセンターを基点にこの大会が開催されました。
- ・ 埼玉、神奈川などの他県でも行われ、年に一度、交流の場として、関東ローリングバレー ボール大会を開催しています。
- ・ プレーヤーは、年齢問わず障害も多種多様にわたり、障害の程度に合わせながら「ルール緩和」を行い、身体・知的・精神の三障害の誰もが楽しめます。